

FAX 申し込み 075-961-6298 (環境課直通)

瀬戸内海の水環境～その変遷

お名前	
ご住所	〒 _____
電話番号	(自宅・携帯)
Mail Address	@ _____

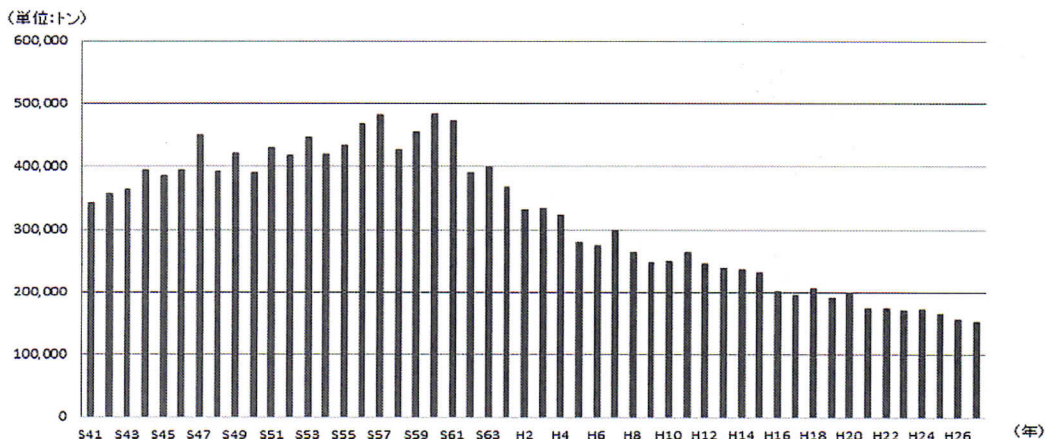
その他、下記からもお申し込みいただけます。

- Facebook <しまもと環境・未来ネット> HP <しまもと環境・未来ネット>
 (http://www.kankyo-mirai.net/form2/)
- 申込み・問合せ (環境課直通：075-962-2863) <休業日、土・日・祝日、年末年始 (12/29~1/3)>



リヒトホーフエン（ドイツの地理学者）は1860年に瀬戸内海に立ち寄り、その美しさを絶賛しました。しかし、1950年代に入り高度経済成長期の人口や産業の集積に伴い、「瀕死の海」と呼ばれるようになってしまいました。1970年代に入り、「瀬戸内海を美しく」という機運が高まり、瀬戸内海環境保全特別措置法が制定され、水質総量削減などの施策が着実に実施されるようになり、水質は改善されてきています。反面、藻場・干潟の減少などの対策が取られず、又貧栄養化現象により、逆に漁業生産量が低迷して来ており、今後は新たに「豊かな海」への新たな施策の展開が求められています。

瀬戸内海区／海面漁業漁獲量の推移



出典：「漁業・養殖業生産統計年報」(農林水産省)
 ※「瀬戸内海区」の範囲は「漁業・養殖業生産統計年報」の大海区分。